

第2学年 体育科学習指導案

日時 平成16年6月9日(水)
第2校時
場所 高山市立西小学校
体育館
授業者 田中 悟子

1. 単元名 なげっこ とりっこ名人になろう(ボール遊び)

2. 実践テーマについて

<研究テーマ>

生涯にわたり喜びをもって健康・体力づくりに取り組める子をめざして
自分の健康や体力に関心を持ち、進んで楽しく実践する児童の育成

<研究の仮説>

仲間との関わりの中で、楽しく運動しながら課題にせまる場を工夫して活動させることができれば主体的に運動に取り組む子が育つと考える。

3. 児童の実態

元気に体を動かすことが好きな男子 名、女子 名、計 名のクラスである。児童は、小さいときからボールを転がしたり、投げたり、ついたりしてきている。

しかし、ボールに多く接して、ドッジボールなどのボール遊びをよくする子は多いとは言えない。実際、ボールの投げ方や捕り方においても、遠くに投げようとしてもバウンドしたり、捕ろうとしたけれどはね返ってしまったりということがある。このような実態からみると、身近なはずのボール遊びも楽しんでいるのか疑問が残る。ボールつき、投げっこなどの運動の力をつけ、どの子にもボール運動を楽しく取り組ませたい。また、仲間と声をかけ合うような力もつきつつあるので、育てて高めていきたいと考える。

4. 具体的な手だて

(1) 集団の編成

低学年なりにグループ活動を通して、仲間のことを考えて行動したり、仲間のことを見たりできるように願う。具体的には下記のような姿をめざす。

集合・整列では、リーダーを中心にすばやく行動すること。

活動では、「いくよ」「いいよ」「がんばれ」などの声をかけ合って気持ちよく運動し、また、仲間のいい所を見つけられることを力としてつけさせたい。

準備や後片づけを協力してできること。

(2) 場の設定

体育館の床のラインを利用して、間を川に見立てたり、的当てゲームを取り入れたり、また、簡単なサーキットを回ることによって、いろいろな遊びの楽しさと体の動きを身につけながら遊べるようにしたい。

(3) 学習カードの活用

自分をふりかえったり、友達のことを見てあげたりする力をつけるため、またボール遊びの得点を記入しあうことに慣れるため、簡単なものから慣れさせたい。

5. 単元の目標

ボール遊びを通して、投げたり、捕ったり、ついたり、転がしたりと楽しさがいっぱいあることに気づくことができる。

ボール遊びを通して、より遠くへ投げたり、的に当てたり、またしっかり捕ったりということを意識して運動することができる。

リーダーの指示で素早く並ぶこと、ボールを出したり、片付けたりすることなどを身につけ、友達と仲よく運動したり遊ぶことができる。

6. 単元指導計画 (全7時間)

時	本時のねらい	主な学習活動	評価規準	留意点
1	サーキットを通して、ボールを投げたり捕ったりして遊ぶことができる。	* ボールを使っているいろいろな遊びをする。(投げる。捕る。ころがす。つくなど) ・ 順番ややり方を守るよう声をかけ合う。	・ ボールを投げたり、捕ったり、ついたりする遊び方が分かり、決まりを守って仲よく活動しようとしている。 (関心・意欲・態度)	・ ジャングルを想定したサーキットで楽しんで遊べるようにする。
2	ボールを正確に投げたり、受けたりして楽しく遊ぶことができる。 (なげっこ)	* 2人組で遠くへ投げあっこする。(パート1) ・ 見る人を決めておいて声をかけ合う。	・ ボールの投げ方に気をつけながら投げている。(技能)	・ まん中の川を設定する。 ・ 「さん風投げ方」のようなことがみつけられるといい。
3		* 2人組で遠くへ投げあっこする。(パート2) 前時よりも遠くに投げ合うことをめざす。 ・ 見る人を決めておいて声をかけ合う。	・ 仲間と投げたり、捕ったりする遊び方を工夫している。(思考・判断)	・ 1mずつ赤・黄・青のテープをひいた場を設定し、より遠くへめざせるようにする。
4	的に意識しながらボールを正しくころがしたり、受けたりして遊ぶことができる。 (ころがしっこ)	* 的当てごっこをし、グループで得点を競う。 ・ 点数を見てやったり、応援したりし合う。	・ ボールのころがし方に気をつけながら的をねらってころがす。(技能)	・ 的によく見て、ころがすときよいことを話す。
5		* 中当てごっこをし、グループで得点を競う。 ・ 点数を見てやったり、応援したりし合う。	・ 仲間のころがす動きを見て、正確にころがすポイントを教える。 (思考・判断)	・ ボールに向かって体を動かして捕ることも意識させる。
6	今まで身につけたことを生かして楽しくボール遊びをすることができる。	* 練習してきた投げ方、ころがし方を生かしながら、ボール遊びをする。 ・ アドバイスの声かけや応援の声かけができる。	・ 遠くへ、投げる、ねらってころがすことに気をつけて活動している。 (技能)	・ ルールを守っているか気をつける。 ・ 結果を認め合って楽しくできるようにする。
7			・ 簡単なルールを決めている。 声かけ応援ができる。(思考・判断)	

7. 本時の目標

間に川を想定した遊び場で、遠くへ投げることをめざし、投げたり、受けたりして楽しく遊ぶことができる。
準備、後片付け、集合などみんなで協力して素早く行い、遊びでは順番や約束を守って遊べる仲間になる。

8. 本時の展開 (3/7)

	学習内容		学習活動		教師の指導・援助	
	運 動 ・ 集 団		運 動 ・ 集 団		運 動 ・ 集 団	
計 画	想定した川を越えて投げる場の中で、自分の決めたラインから遠くへ投げることを考え楽しく遊ぼうと意欲を持つ。	運動の順番や約束を守って遊ぶことが分かる。	<p><準備> みんなで協力して準備する。</p> <p><集合・整列> グループ(4・5人)で整列。</p> <p><準備運動> グループごとに馬跳び・サーキットをする。</p> <p><はじまりの会></p> <p>本時のめあて</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">川をこえて、とおくへボールをなげよう</div> <p>約束</p> <p>順番を守る『まもりマン』になろう。</p> <p>「いくよ」「いいよ」と声をかけ、『なかよしマン』になろう。</p> <p>友達の動きをよく見てあげ『はげましマン』になろう。</p>	<p>どのラインから投げるか、または、投げるようになりたいか、ひとりひとりが自分の願いをもてるようにする。</p> <p>赤 黄 青の色をゲットするような意欲を持たせる。</p>	準備が安全にできているか確認する。	
展 開	自分の決めたラインから遠くへ投げたり、それを受けたりし、楽しく遊ぶ。	<p>運動の順番や決まりを守って仲よく遊ぶことができる。</p> <p>「いくよ」「いいよ」の合図を出し合い、安全に楽しく遊ぶことができる。</p> <p>見合う人は励ましや拍手ができる。</p>	<運動の場>	<p>赤・黄・青ラインを意識して遠くへ投げようとしているかを見る。</p> <p>投げ方、左手や足の動きなど、工夫している人を見つけ、広める。</p> <p>投げ方や受け方のよかった点を具体的に伝えてやる。</p>	<p>運動の順番や決まりを守って仲良く遊んでいるグループを認める。</p> <p>投げ方のうまくいかない子や遠くへ届かない子にはともにやってみて、意欲を高めつつ進める。</p> <p>ラインが一つでも伸びるように励ます。</p>	
評 価	ラインからラインへ(遠くへ)投げて楽しく遊べたかふりかえる。	運動の順番や決まりを守って仲よく遊べたかふりかえる。	<p><整理体操> 体をほぐす運動</p> <p><おわりの会> 今日のめあてを振り返る。 (楽しかったか。遠くまで投げれたか。)</p> <p><片付け> みんなで協力して後片づけをする。</p>	楽しく活動し、チャレンジしていた具体的な姿を育てる。	はじまりの会の確認が守れたか具体的な姿をあげて評価する。	

1 班					
2 班					
3 班					
4 班					
5 班					
6 班					